



P18



P23



〈表紙写真～「桜島View Spot 77」より〉  
陣が丘公園展望台(曾於市)

曾於市内にある絶景スポット。北は霧島連峰を望み、南は志布志湾がひらけ、西は噴煙たなびく桜島が美しく映えるなど、最高の景勝地となっている。

近景の緑、中景の平たい山、その奥に桜島の上部がのぞき、夕暮れ時は色合いが良く、コントラストも際立ちロマンチックな風景に。また野鳥の観察や、夜は天体観測に適した場所もある。

○提供：観光かごしま大キャンペーン推進協議会  
○撮影：中村 正賢氏

ATMEN(アートメン) カメラマン

01 南の風  
大学の地域連携  
大久保 幸夫/鹿児島国際大学 学長

02 時流を読む

02 調査レポート  
業況D.I.、7期連続マイナス圏  
第157回 県内企業・業況調査結果

14 プラスワン  
SDGsに対する取り組みについて

16 新時代の鹿児島を考える  
鹿児島市の再開発について

20 歴史まち歩き 日向神話のゆかりの地を訪ねて～南さつま市編～

21 経営のヒント

22 〈寄稿〉農水産業

24 ビジネスQ&A【税務】

26 台北だより

28 知っと～と福岡

29 ランキング鹿児島 <インターネット利用率>…全国42位

30 湯ネスコ 「永盛温泉」(鹿児島市)

32 旬語辞典 ワーケーション

33 マンスリーデータ

34 景況

46 指標

53 経済日誌

56 BOOKs 今月の1冊・10月のベスト10

57 ビジネスセミナーのご案内

61 よかど鹿児島島 お店紹介 ・カゴシマパスタ食堂  
・kotobuki delicatessen

## 知ってる?かごしま!

かごしま検定より出題

問題提供 鹿児島商工会議所

鹿児島銀行キャラクター

① 直接日本を目にした欧州人による最古の本格的な記録である「日本報告」に記されているのは、次のどれか。

① 麦焼酎を飲んでいる ② 砂蒸し温泉に入っている ③ 豚肉を食べている

② 種子島に鉄砲を伝えたポルトガル人が漂着した場所は、次のどこか。

① 浦田海岸 ② 熊野海岸 ③ 門倉岬



し3どん - SHIRODON -

【答え】はP21に!



## 経営の ヒント

- 22 〈寄稿〉農水産業  
美味しく健康な牧草和牛で畜産業を革新する  
～鹿児島大学農学部・後藤貴文教授～
- 24 ビジネスQ&A【税務】  
キャッシュレス・消費者還元事業と消費税との資金繰り
- 26 台北だより  
台湾の経済動向と産業構造分析
- 28 知っと～と福岡  
福岡でタピオカ商談会

### 知ってる?かぞしま!【解答】

【問題】は目次に!

※解説は当研究所で作成いたしました。

#### 【解答】 ② 砂蒸し温泉に入っている

「日本報告」を著したポルトガル商人ジョルジュ・アルバレスは、天文15（1546）年に山川に来航した。人々が米焼酎を飲み、砂蒸し温泉に入る様子を記している。

#### 【解答】 ③ 門倉岬

天文12（1543）年、明国船が種子島の最南端、門倉岬付近に漂着した。乗船していたポルトガル商人が種子島島主種子島時堯に鉄砲を伝えた。



# マンスリー データ

## 景況

34 鹿児島県

38 宮崎県

42 熊本県

## 指標

46 全国・鹿児島県の経済指標

49 宮崎県・熊本県・福岡県・沖縄県の経済指標

53 経済日誌  
鹿児島県内・全国・九州・宮崎県内

# 業況D.I.、7期連続マイナス圏

第157回 県内企業・業況調査結果

2019年7～9月期の業況「**下落**」

19年10～12月期の業況見通し「**やや改善**」

## 【概況】

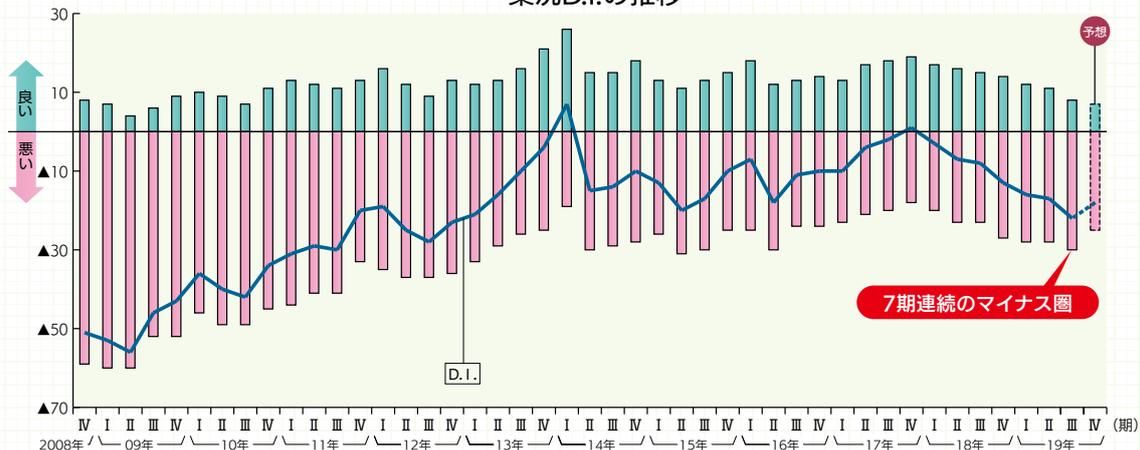
- 今期の業況D.I.は全体で▲22となり、前期(▲17)から5ポイント下落した。第151回から7期連続のマイナス圏となった。
- 来期の業況見通しは▲18で今期(▲22)からやや改善する見通し。
- 今期、設備投資を実施した企業割合は39%と、前期(36%)からやや下落した。今期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで180億円、前年同期比14.6%増となった。来期の設備投資の合計金額(実額)は全産業ベースで157億円となり、前年同期比24.6%増となる見通し。
- 経営上の問題点(内部環境・外部環境)は、「人手不足・求人難」を挙げる企業割合が54%と第147回(2017年1～3月期)の調査以来11期連続で単独トップとなっており、深刻な問題である。

用語：今 期=19年7～9月期      来 期=19年10～12月期  
前 期=19年4～6月期      前年同期=18年7～9月期  
D.I.=「良い」-「悪い」、「増加」-「減少」、いずれも回答企業割合

## 【調査要領】

- 1.対象企業 県内主要企業 500社 [調査方法] インターネット及び郵送方式
- 2.調査時期 19年9月下旬
- 3.対象期間 19年7～9月期実績見込み 19年10～12月期見通し
- 4.質問項目 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売価格、仕入価格、損益、資金繰り、雇用人員、設備投資、設備投資金額(実額)、経営上の問題点
- 5.回答企業数 357社(回答率 71.4%)  
(製造業 73.5%、建設業 66.7%、卸売業 70.6%、小売業 70.7%、その他産業 72.4%)

業況D.I.の推移



# SDGsに対する取り組みについて

- ・2015年9月に国連で採択されたSDGs<sup>注</sup>について、行政や市民レベルに加え企業の社会的責任の観点からもその重要性が高まっている。
- ・本稿では、県内企業のSDGsに対する取り組み状況や、その内容など当研究所が実施したアンケート調査の結果から説明する。

## 75%の企業がSDGsに未着手

当研究所が実施したアンケート調査（調査概要参照）によると、SDGsに対する取り組み状況について、「取り組んでいる」が10%であり、「取り組みについて検討中」（15%）を合わせると25%の企業がSDGsに前向きな姿勢であることが分かった（図表1）。一方、「取り組んでいない」は75%で多くの企業が現状ではSDGsに未着手という

結果となった。業種別では「取り組んでいる」「取り組みについて検討中」の企業の合計が最も多かったのが小売業（31%）で、最も少なかったのは卸売業（17%）であった。

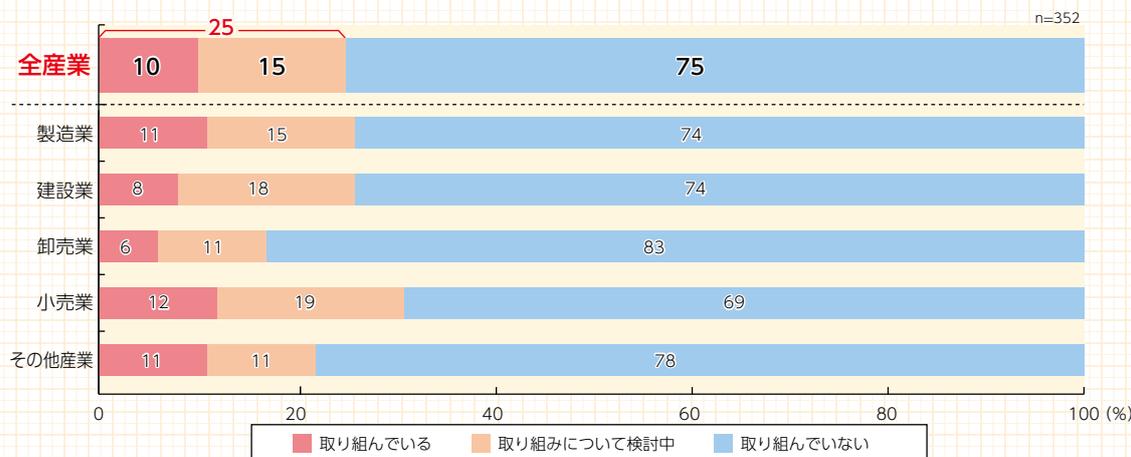
**取り組む理由**は、「企業価値向上への期待」と「自社の企業理念・経営課題などと一致する」がともに46%と最も多く、次いで「社会的な要請の高まり」（43%）、「もともと取り組んでいた活動が一致している」（28%）の順となった（図表2）。また、建設業、卸売業、小売業では「社会的な要請の高まり」を挙げる企業が多かった。

SDGsの17の目標のうち、「取り組んでいる」、もしくは「取り組みについて検討中」のものは、「3.すべての人に健康と福祉を」「8.働きがいも経済成長も」がともに53%と最も多く、次いで「7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに」（47%）、「12.つくる責任使う責任」（43%）、「11.住み続けられるまちづくりを」（36%）の順となった（図表3）。また、具体的な取り組みには「健康経営（従業員の健康管理を経営的な視点で考え実践する）」、「再生可能エネルギーの活用」、「リサイクルの取り組み」、「ISO

### 〈調査概要〉

1. 調査時期 2019年9月下旬  
(第157回県内企業・業況調査時)
2. 調査方法 インターネット及び郵送
3. 対象企業 県内主要企業500社
4. 回答状況 回答企業352社  
回答率70.4%

図表1 SDGsに対する取り組み状況



注) SDGs…現代世界が地球規模で直面する経済、社会および環境面における課題を解決するため、国連で採択された国際目標。17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成される。日本においても内閣総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置し、積極的な推進に取り組んでいる。